

逗子市で発生したがけ崩れにおける土砂災害専門家による現地調査

令和2年2月5日に、神奈川県^{す し し い け}逗子市池子で発生したがけ崩れに関して、神奈川県の要請により、崩落した斜面の状況を確認し、緊急的な対応等について技術的助言を行うため、土砂災害専門家を派遣しました。

(土砂災害専門家) 国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究室長ほか 1 名

■土砂災害専門家による調査結果



調査の状況 (2月7日撮影)



逗子市への報告 (2月7日撮影)



逗子市への報告後記者レク状況 (2月7日撮影)

● 調査結果

◇今回の崩落について

- ・崩落箇所の規模は、幅8～9m、長さ8m、深さ1m程度であった。
- ・がけ崩れについては、風化した凝灰岩(ぎょうかいがん: 火山灰が固まった岩石)が崩落したものと考えられる。
- ・日当たりが悪く、植生が貧弱で、地表温度の変化や風の影響を受けやすく乾燥・湿潤を繰り返し受け易いなどの悪条件が重なったものと推察される。

◇緊急的な対応

- ・崩落地については、斜面上に残る土砂を撤去し、風化を防止するためにコンクリートで被覆をするなどの処置が考えられる。